

高松宮記念杯 男子第61回・女子第54回 平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会

開催日	2018 年 11 月 12 日 月 曜日	試合番号	25			
開催地 (都道府県名)	大阪府	会場名	丸善インテックアリーナ大阪			
性別	女子	回戦	準々決勝			
スコア	A	得点	前半	得点	B	
	筑波大学	31	15	-	10	早稲田大学
			後半			
			14	-	19	
			第1延長前半			
			0	-	2	
			第1延長後半			
			2	-	2	
			第2延長前半			
			-			
第2延長後半						
-						
7mTC						
-						

戦況	見出し	驚異的な粘りで逆転勝利へ
	前半	筑波大学は徳田のステップシュートで得点し、試合の火蓋が切られた。
		序盤は大久保のサイドシュート、牧野のパスカットによる速攻で4-1と筑波がリードする。
		たまた早稲田がタイムアウトを取るも、筑波の攻撃を止め切れず11分で8-2と6点差に
		差が広がる。
		しかし、その後早稲田GKの活躍で20分経過時点で10-6と4点差まで差を縮めるも
		両チームの固い守備によって得点が広がらず、15-10の筑波大学リードで前半が終了した。
後半	筑波の2連続得点で後半が幕を開ける。しかし、早稲田の強力な攻撃で牧野が退場、	
	高野が失格処分となり、一時的に5人で試合に臨む苦しい状況となるも守備が奮闘し、	
	最少失点に留める。勢いに乗る早稲田は三輪の速攻などでしぶとく追い上げ、	
	後半13分13-9と3点差まで詰め寄った。その後互いに点を奪い合い、後半20分26-23	
	となり、このまま試合が終わるかと思われた。しかし、残り2分で早稲田の驚異的な粘り	
	で2点差とする。さらに、三輪の速攻で2連取で同点に追いつき試合を延長に持ち込む。	
	早稲田は追いついた勢いをそのままに延長前半で2点差、さらに後半でも2点差	
	をつけて筑波大を振り切り、劇的な逆転勝利を飾った。	

戦況報告書作成者 守本 幸三郎